

北海道の黒毛和種の改良を担う道産種雄牛「勝早桜5」を開発しました



「勝早桜5」平成18年生 畜産試験場産

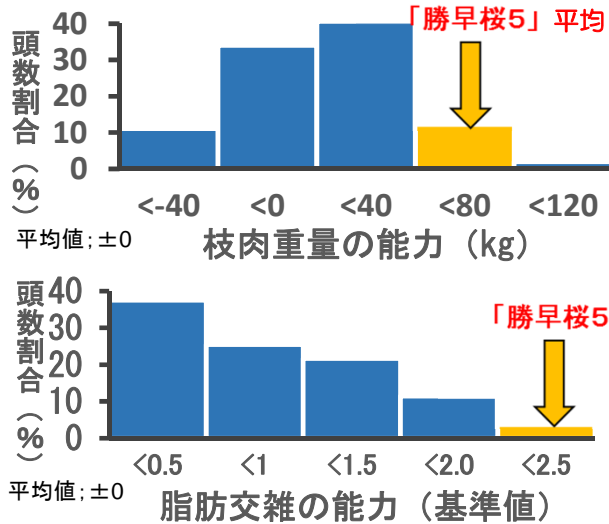
背景

- 黒毛和種の改良には、良質な牛肉をたくさん生産する産肉能力の向上と発育が良く丈夫な子牛を効率的に生産する種牛能力が重要です。

成果

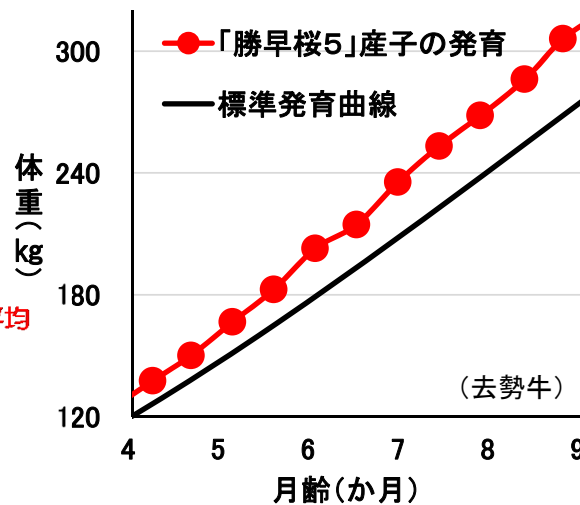
1 肉量と肉質の能力が高い (産肉能力)

全国の種雄牛における「勝早桜5」の能力



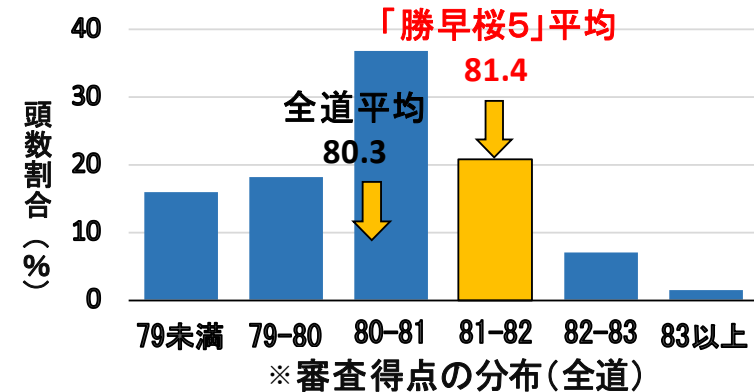
- 肉量 (枝肉重量) と肉質 (脂肪交雑: 霜降りの度合い) が全国の種雄牛の中でもトップクラスに属する。
⇒牛肉の評価が高い

2 子牛の発育が良い (種牛能力①)



- 「勝早桜5」の子牛は標準的な発育を大きく上回っている。
⇒丈夫で育てやすく、子牛市場で評価が高い

3 子牛 (娘) の体型・体格が良い (種牛能力②)



- 「勝早桜5」の子牛 (娘) は、体型・体格が良い (得点が高い)。
⇒生まれてくる子牛の生産性が高い

※審査得点：牛の体型や大きさを数値化したもので、得点が高いと、子牛の生産性が高い母牛であることを示しています。

期待される効果

- 道内の生産者が飼養する雌牛に「勝早桜5」を交配することにより、産肉能力と種牛能力の改良が期待できます。